

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170102582		
法人名	医療法人社団稲葉会		
事業所名	芥見グループホーム(Aユニット)		
所在地	岐阜市岩田東3-277-1		
自己評価作成日	平成21年11月3日	評価結果市町村受理日	平成22年1月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2170102582&amp;SCD=320">http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2170102582&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成21年11月19日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは ゆったりとした毎日を過ごして頂けるような雰囲気作りを心掛けています。笑顔が多く、優しい職員が揃っています。健康面では医療機関との連携体制が整っており安心した生活を送っていただけるかと思いません。食材は ほぼ生活協同組合コープから仕入れ 美味しい食事を食べて頂けるように努力しています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平屋造りの2ユニットを渡り廊下でつなぎ、それぞれに玄関を設け独自性と協力体制が保たれている。多くの診療科目と入院病床を持つ医療法人が運営しており、医療のバックアップ体制が整っている。希望者は車で5分程にある系列のデイサービスを週2回利用でき、入居前からの馴染みの関係や気分転換を図っている。ホームは、居室をはじめリビング・トイレ・廊下の共有スペース、また、キッチン、スタッフルームの全てに十分な広さとゆとりを持った設計が施され、利便性と清潔感がある。職員が活き活きと勤務し、家族や地元の関係者が訪れやすい雰囲気がある。

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価票(Aユニット)

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者本位としやさしい心を持っていつも笑顔で過ごして頂けるようなサービスを心掛け、常に意識を持って日々の業務につなげています。	「利用者本位」「やさしい心」「いつも笑顔」を理念に掲げ取り組んでいる。利用者の穏やかな表情からも実践が表れている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し交流する機会が増やせるように努めています。 また、地域の行事等の参加や散歩、外出時の挨拶を含め、交流を深めています。	自治会の回覧で地域の状況や行事を把握し参加している。近隣の小学校で行われるコンサートに招かれるなど交流がある。また、地元中学生の体験学習の受け入れも行き、人々が訪れやすい環境づくりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	独居生活の方や日常生活が少々困難になっている方々、家族に介護を要する高齢者が見える方々等の相談や話しあいを行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動報告をし、家族様の意見を取り入れながらサービス向上に努めています。また、ホーム内での行事、外出や外食において家族様の参加を促し、交流を深めています。	家族交流会に併せて、2ヶ月に1回運営推進会議を開催している。主に家族代表とホーム側の出席が多く、地域代表や行政関係者の参加はなく、意見が反映されていない。	開催日の見直しや地元自治会の班長や地域包括支援センターにも参加の呼びかけを検討されたい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	岐阜市介護保険課へ、疑問点やサービスについての相談など常時、連絡を取り合いながら積極的に取り組んでいます。	市担当者とは、家族との関わり方や質問の答え方を相談したり、また、書類の書き方など必要に応じ指示を受けるなど交流を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束(精神含め)への理解を職員に徹底し、会議等で何が拘束となるかを考慮しながら拘束のないケアを行っています。	日中玄関は開錠されており、身体拘束ゼロケアに対する職員の意識は高い。一時的に拘束が必要になった場合は、家族を交え、外す方向を検討しながら取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修で学んだ事や情報など書面を通し、虐待防止に努めています。 また虐待の深い理解や把握の周知徹底をしています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等の理解に関しては、会議などで話し合いの場を設けている。 又、地域権利擁護事業や他事業所との会議などで情報収集しNPO法人の身元保証制度を利用し支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書に基づき利用者様、家族様に詳しく説明をし、同意を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の面会時などにお話ししやすい環境作りにも動いています。又、苦情窓口及び、担当職員を明確にし、玄関に掲示してあります。苦情が寄せられた場合は速やかに苦情内容を確認しその内容について迅速な対応ができるよう努めています。	気軽に食事をしながらの家族交流会を毎月行っており、毎回半数程の家族が参加している。そこで交わされる意見を取り上げたり、面会時に話しやすい環境を提供し把握に努め、対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員間での意見交換を密に行うよう心掛けています。 意見や提案がある場合は常時、報告があり話し合いが必要な場合は会議等で検討しています。	法人全体会議・各棟会議・ホーム会議・診療会議が毎月開催されており、多方面から意見交換が行われ早期問題解決が実践されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の事情を配慮し働きやすい労働時間(残業時間を減らすこと、体が休められるようなシフトを作成)となるように工夫しています。また得意な事柄をのばし、苦手な事柄を学べるように職場環境を整えています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の立場や必要性に応じて、各種の研修に参加し、会議の中で、他職員への伝達を行い質向上に努めています。また、OJTを行い、各職員間でトレーニングできるように工夫し、資料などは常時確認できるようにしています。(各棟に保管)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会等に参加し情報収集や意見交換、他事業所へ利用者様の紹介や訪問等に取り組んでいます。 また、研修先において意見交換など積極的に行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居予約者様の事前面接時、様々な要望を聞き信頼関係を得られるよう努力しています。 また、サービス開始までの間、相談を受け入れ、安心確保を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様に、家族様からも要望や不安等の相談を受けとめ、対応しながら信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	予約時や事前面接時に相談を受け、その方に適した対応方法など話し合い、サービスに対しての検討をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りや掃除、その他、個々の利用者様の得意分野とする事を皆で学び、共存し合う事で一体化を図り、常に感謝の気持ちや敬意を忘れず、支えあいながら生活できる関係作りを心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気分低下気味の方、ホームの生活に慣れない方はなるべく家族様等に面会をお願いし安心できるよう協力をさせていただいてます。 又、行事等、参加を呼びかけ家族様との絆を大切に、維持向上に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の馴染みの場所等、可能な限り付き添い、関係の維持に努めています。利用者様の知人や近所の方々がごまめに面会に来てくださるので、常に丁寧に接し気分良く帰っていただけるように心掛けています。	車で5分程にある同法人経営のデイサービスを、希望者は週に2回程利用している。入居前に通っていたデイサービスで親しくしていた人と会ったり、馴染みのデイサービスの利用者がホームへ面会に来たりと、関係の継続が図られている。選挙の投票にも行けるよう支援して	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いに出きる事、できない事を利用者様同士が、手をかけあい、助け合いながら生活をしています。共に楽しみ、支えあうことで孤立を防ぎ、笑顔につながっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も家族様からの相談に応じ、その都度、対応しながら、お付き合いを大切にしています。また、家族様より入居希望者の紹介もあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自宅での生活スタイルや、利用者様の個々に合った暮らし方になるべく添えるような生活の確保に努めています。	利用者宅の畑のみかん狩りや柿取りを恒例行事としたり、台風時期には自宅を心配する利用者同行して雨戸を閉めたり、それぞれの意向をかなえる生活支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様からの情報や、本人様とのコミュニケーションを通し、得た情報等の記録を参考にしてサービスを提供し生活歴等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々に毎日の生活を記録に残し、全職員が日々の状態を把握できるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個々のカルテや日常生活の様子など本人や家族様、関係者と話し合いを行い、サービス計画書を作成しています。 精神、身体等の変化に応じ、その都度、話し合いをしながら、見直しを行っています。	利用者3人に対し2人の介護職員が居室の担当をしている。ユニット会議で担当者及び職員からの意見や提案を検討し、ユニット各の計画作成者がそれぞれ介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個々のケアプラン経過記録、生活記録など記入している為、その記録を参考にすると共に、会議で話し合いの場を設け、介護計画の見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、家族様の希望に応じて、外出、買物、受診などの支援をしています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を深める為、校下内で行われる催し(音楽会・コンサート)などに参加しています。また、近所の商店への買物、喫茶店利用も行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、家族様の希望される医療を受けられるよう支援しています。又、専門医と連携を取り往診なども行っています。	運営する医療法人がかかりつけ医となっている。月2回の往診を始め、多くの診療科(内・外・呼吸器・循環器・皮膚・リハビリ)の専門医の受診・往診体制が整っている。また、歯科医とも提携し、往診の支援がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用している医療機関の看護師と常時連絡を取り利用者様の状態を報告、相談し健康管理をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	常時、主治医、看護職員との情報を密にし、本人様、家族様が安心していただけるような対応を心掛けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療職員、看護職員、家族様との話し合いを早い段階から行い、より良いケアができるよう、チームで支援を行っています。	法人の医師、家族、関係職員との十分な話し合いが行われ、本人や家族の納得のいく支援が行われている。法人の医院には、入院体制も整っており、重度化の受け入れも可能である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を開き、急変時や事故発生時はすぐに主治医、管理者へ連絡し指示を仰ぎ、応急手当や初期対応できるよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアルを作成し、各職員が把握できるようにしています。又、訓練も実際に行い、物品等の準備をし災害に備えています。	消防署の指導による防災訓練を年に2回実施している。災害時の備蓄を3日分用意している。	日中の避難訓練は実施されているが、職員の少ない夜間を想定した避難訓練の実施も検討されたい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さまの立場になった声掛けを行い、プライバシーの確保には十分な配慮を行い、一人ひとりの人格を尊重しています。	入浴時の羞恥心への配慮、個室に出入りする際のノックや声かけ、トイレ誘導時や汚染処理など、日々の支援に尊厳をもって対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言語障害、難聴の方にはジェスチャーや筆談などで理解して頂けるような対応をしています。できる限り本人の希望を尊重できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ、自分らしく過ごして頂けるよう支援し、本人の思いを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日起床時に、身だしなみや洋服選び等の支援をしています。 又、利用者様が自己決定できるよう働きかけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、一人ひとりの嗜好を取り入れながら、できる事を分担し、一緒に準備や片付けをして頂いています。 作り方や味付けなど教えて頂きながら、皆で協力し合い、楽しい食事ができるよう努めています。	利用している生協のチラシを利用者と一緒に見ながら食材や献立を検討している。配膳や後片付けはそれぞれ出来る範囲で自主的に行っている。利用者が世話をしている畑で採れた野菜を食材に利用し、皆で味わっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事チェック表に記入し、食事量が少ない場合は補食にて対応し、体調の変化に合わせ、臨機応変に対応しています。水分補給は時間を決めて行っていますが、随時お茶や水が飲めるよう準備してあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声掛けを行い、なるべく自分で行うよう促し、できないところは援助しています。又義歯など毎晩消毒するよう援助し、口腔清潔を行っています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄パターンを把握したり、様子観察にてトイレ誘導声掛けを行っています。 オムツの使用を減らし、自立に向けた排泄の支援を行っています。	24時間の排泄チェックを行い、個々の排泄パターンに合ったトイレ誘導を行うことで、失禁の減少に努めている。排泄の自立支援を行うことで、オムツの使用が減少し、家族の負担の軽減にもなっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表にて排便の有無を確認しトイレ誘導時にはウォッシュレットを使用したり、腹部マッサージなど個々に対応しています。なるべく食事のメニューには食物繊維、乳製品など使用し工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日、回数は決まっていますが利用者様の体調、衛生状態等に合わせいつでも入浴して頂いています。又、時間など制限せずくつろいで入浴ができるよう努めています。	ホームでは週2回の入浴を行っている。希望者には、車で5分程にある同法人経営のデイサービスに出かけ大浴場で入浴したり、車いすの利用者は機械浴の利用もしている。デイサービスには、ホーム職員が同行し、介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターン、生活習慣を把握し、良い睡眠がとれるよう日常生活の過ごし方、環境を整えるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋綴りを用い、全職員がいつでも確認できるようにしています。状態の変化がある場合はその都度、主治医に報告し指示を受けています。誤薬飲み忘れを防ぐ為、常時職員2人にて確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の行事など行い、季節感を味わって頂けるような計画を実行しています。 コミュニケーションを多くしたり、役割を持って頂くなどし、自分らしく過ごせるよう働きかけをしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	週に1～2回程度、買物や散歩、喫茶店などに出かけられるよう支援しています。その日の希望に添って外出できない時もあり、そのような場合には日にちを決めて外出できるようにしています。	それぞれの希望に沿うよう外出を支援しているが、車いすの利用者が増えており、思うようにいかない状況がある。週2回のデイサービスや散歩、喫茶店利用などを行っている。	



岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が困難な方は、職員で管理していますが、現金を所持せず不安を感じる方に対しては家族様と相談して本人様管理をして頂いています。買物では一緒に支払いを行い、安心される現金管理に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時には、都度連絡する援助を行っています。電話の際は、職員は席を外し、ゆっくりと話をし頂ける空間作りに配慮しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	談話室にはソファーにてくつろげるスペースを設け、観葉植物や季節の花、花壇の花を飾り、季節感を味わって頂きながら、心地よく過ごしやすい空間作りを行っています。	南向きのリビングにはパキラなど観葉植物が置かれ、大画面の液晶テレビの前では利用者がソファに腰掛け楽しんでいる。また、対面キッチンの横にはボトル式の水が置かれ、いつでも誰でも自由に水が飲めるようになっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室のテーブル席は気の合う利用者様同士が近隣の席で座れるよう配慮しており、思い思いに楽しみながら過ごして頂ける環境作りをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を使用してみえる方や、家族様や昔の写真を飾ってみえる方、趣味の物(花や作品)を置いてみえる方など、本人らしい個々の空間の中で過ごして頂けるよう工夫しています。	部屋の入り口に、思いおmoiの暖簾が掛けられており、利用者手作りの作品もある。室内は個々の利用者による部屋作りがされており、それぞれ落ち着いた生活が送れるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体状況に合わせた家具の配置や、必要な箇所には手すりを設置しています。又、水周りにはマットを使用し、床等の水濡れには注意し、安全に過ごせる環境作りに努めています。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170102582		
法人名	医療法人社団稲葉会		
事業所名	芥見グループホーム		
所在地	岐阜市岩田東3-277-1		
自己評価作成日	平成21年11月3日	評価結果市町村受理日	平成22年1月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成21年11月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

## 自己評価および外部評価票(Bユニット)

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者本位としやさしい心を持っていつも笑顔で過ごして頂けるようなサービスを心掛け、常に意識を持って日々の業務につなげています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し交流する機会が増やせるように努めています。 また、地域の行事等の参加や散歩、外出時の挨拶を含め、交流を深めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	独居生活の方や日常生活が少々困難になっている方々、家族に介護を要する高齢者が見える方々等の相談や話しあいを行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームでの活動報告をし、家族様の意見を取り入れながらサービス向上に努めています。また、ホーム内での行事、外出や外食において家族様の参加を促し、交流を深めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	岐阜市介護保険課へ、疑問点やサービスについての相談など常時、連絡を取り合いながら積極的に取り組んでいます。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束(精神含め)への理解を職員に徹底し、会議等で何が拘束となるかを考慮しながら拘束のないケアを行っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議や研修で学んだ事や情報など書面を通し、虐待防止に努めています。 また虐待の深い理解や把握の周知徹底をしています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護等の理解に関しては、会議などで話し合いの場を設けている。 又、地域権利擁護事業や他事業所との会議などで情報収集しNPO法人の身元保証制度を利用し支援しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書に基づき利用者様、家族様に詳しく説明をし、同意を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の面会時などにお話ししやすい環境作りに勤めています。又、苦情窓口及び、担当職員を明確にし、玄関に掲示してあります。苦情が寄せられた場合は速やかに苦情内容を確認しその内容について迅速な対応ができるよう努めています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員間での意見交換を密に行うよう心掛けています。 意見や提案がある場合は常時、報告があり話し合いが必要な場合は会議等で検討しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の職員の事情を配慮し働きやすい労働時間(残業時間を減らすこと、体が休められるようなシフトを作成)となるように工夫しています。また得意な事柄をのばし、苦手な事柄を学べるように職場環境を整えています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の立場や必要性に応じて、各種の研修に参加し、会議の中で、他職員への伝達を行い質向上に努めています。また、OJTを行い、各職員間でトレーニングできるように工夫し、資料などは常時確認できるようにしています。(各棟に保管)		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会等に参加し情報収集や意見交換、他事業所へ利用者様の紹介や訪問等に取り組んでいます。 また、研修先において意見交換など積極的に行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居予約者様の事前面接時、様々な要望を聞き信頼関係を得られるよう努力しています。 また、サービス開始までの間、相談を受け入れ、安心確保を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様に、家族様からも要望や不安等の相談を受けとめ、対応しながら信頼関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	予約時や事前面接時に相談を受け、その方に適した対応方法など話し合い、サービスに対しての検討をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事作りや掃除、その他、個々の利用者様の得意分野とする事を皆で学び、共存し合う事で一体化を図り、常に感謝の気持ちや敬意を忘れず、支えあいながら生活できる関係作りを心掛けています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気分低下気味の方、ホームの生活に慣れない方はなるべく家族様等に面会をお願いし安心できるよう協力をさせていただいています。 又、行事等、参加を呼びかけ家族様との絆を大切に、維持向上に努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人様の馴染みの場所等、可能な限り付き添い、関係の維持に努めています。利用者様の知人や近所の方々がこまめに面会に来てくださるので、常に丁寧にし話し気分良く帰っていただけるように心掛けています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いに出きる事、できない事を利用者様同士が、手をかけあい、助け合いながら生活をしています。共に楽しみ、支えあうことで孤立を防ぎ、笑顔につながっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も家族様からの相談に応じ、その都度、対応しながら、お付き合いを大切にしています。また、家族様より入居希望者の紹介もあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自宅での生活スタイルや、利用者様の個々に合った暮らし方になるべく添えるような生活の確保に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族様からの情報や、本人様とのコミュニケーションを通し、得た情報等の記録を参考にしてサービスを提供し生活暦等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々に毎日の生活を記録に残し、全職員が日々の状態を把握できるように努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個々のカルテや日常生活の様子など本人や家族様、関係者と話し合いを行い、サービス計画書を作成しています。 精神、身体等の変化に応じ、その都度、話し合いをしながら、見直しを行っています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個々のケアプラン経過記録、生活記録など記入している為、その記録を参考にすると共に、会議で話し合いの場を設け、介護計画の見直しをしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様、家族様の希望に応じて、外出、買物、受診などの支援をしています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を深める為、校下内で行われる催し(音楽会・コンサート)などに参加しています。また、近所の商店への買物、喫茶店利用も行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、家族様の希望される医療を受けられるよう支援しています。又、専門医と連携を取り往診なども行っています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用している医療機関の看護師と常時連絡を取り利用者様の状態を報告、相談し健康管理をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	常時、主治医、看護職員との情報を密にし、本人様、家族様が安心していただけるような対応を心掛けています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療職員、看護職員、家族様との話し合いを早い段階から行い、より良いケアができるよう、チームで支援を行っています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を開き、急変時や事故発生時はすぐに主治医、管理者へ連絡し指示を仰ぎ、応急手当や初期対応できるよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時のマニュアルを作成し、各職員が把握できるようにしています。又、訓練も実際に行い、物品等の準備をし災害に備えています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さまの立場になった声掛けを行い、プライバシーの確保には十分な配慮を行い、一人ひとりの人格を尊重しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言語障害、難聴の方にはジェスチャーや筆談などで理解して頂けるような対応をしています。できる限り本人の希望を尊重できるよう努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせ、自分らしく過ごして頂けるよう支援し、本人の思いを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日起床時に、身だしなみや洋服選び等の支援をしています。 又、利用者様が自己決定できるよう働きかけています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様、一人ひとりの嗜好を取り入れながら、できる事を分担し、一緒に準備や片付けをして頂いています。 作り方や味付けなど教えて頂きながら、皆で協力し合い、楽しい食事ができるよう努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事チェック表に記入し、食事量が少ない場合は補食にて対応し、体調の変化に合わせ、臨機応変に対応しています。水分補給は時間を決めて行っていますが、随時お茶や水が飲めるよう準備してあります。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きの声掛けを行い、なるべく自分で行うよう促し、できないところは援助しています。又義歯など毎晩消毒するよう援助し、口腔清潔を行っています。		



岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にて排泄パターンを把握したり、様子観察にてトイレ誘導声掛けを行っています。 オムツの使用を減らし、自立に向けた排泄の支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	チェック表にて排便の有無を確認しトイレ誘導時にはウォッシュレットを使用したり、腹部マッサージなど個々に対応しています。なるべく食事のメニューには食物繊維、乳製品など使用し工夫しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の曜日、回数は決まっていますが利用者様の体調、衛生状態等に合わせいつでも入浴して頂いています。又、時間など制限せずくつろいで入浴ができるよう努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターン、生活習慣を把握し、良い睡眠がとれるよう日常生活の過ごし方、環境を整えるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋綴りを用い、全職員がいつでも確認できるようにしています。状態の変化がある場合はその都度、主治医に報告し指示を受けています。誤薬飲み忘れを防ぐ為、常時職員2人にて確認を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節の行事など行い、季節感を味わって頂けるような計画を実行しています。 コミュニケーションを多くしたり、役割を持って頂くなどし、自分らしく過ごせるよう働きかけをしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	週に1～2回程度、買物や散歩、喫茶店などに出かけられるよう支援しています。その日の希望に添って外出できない時もあり、そのような場合には日にちを決めて外出できるようにしています。		

岐阜県 芥見グループホーム

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が困難な方は、職員で管理していますが、現金を所持せず不安を感じる方に対しては家族様と相談して本人様管理をして頂いています。買物では一緒に支払いを行い、安心される現金管理に努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	希望時には、都度連絡する援助を行っています。電話の際は、職員は席を外し、ゆっくりと話をし頂ける空間作りに配慮しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	談話室にはソファにてくつろげるスペースを設け、観葉植物や季節の花、花壇の花を飾り、季節感を味わって頂きながら、心地よく過ごしやすい空間作りを行っています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話室のテーブル席は気の合う利用者様同士が近隣の席で座れるよう配慮しており、思い思いに楽しみながら過ごして頂ける環境作りをしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を使用してみえる方や、家族様や昔の写真を飾ってみえる方、趣味の物(花や作品)を置いてみえる方など、本人らしい個々の空間の中で過ごして頂けるよう工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	身体状況に合わせた家具の配置や、必要な箇所には手すりを設置しています。又、水周りにはマットを使用し、床等の水濡れには注意し、安全に過ごせる環境作りに努めています。		